

2024年9月24日

各 位

会 社 名 株式会社サイトリ細胞研究所
代表者名 代表取締役会長兼社長 星野 喜宏
(コード：3750 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営企画部長 藤村 剛
(TEL. 03-6860-5701)

子会社における動物領域エクソソームの独占的実施権契約締結に関するお知らせ

当社連結子会社の株式会社アニマルセラピー（以下「アニマルセラピー社」といいます。）は、株式会社 Meis Technology（愛知県名古屋市中区錦 3-3-32、代表取締役 杉浦 亘）（以下「Meis 社」といいます。）及び株式会社バイオラボ（鹿児島県奄美市名瀬港町 6-2、取締役 高木 惣一）（以下「バイオラボ社」といいます。）との間で、本日、動物領域エクソソーム（Exosome）^注の獲得技術に関する独占的実施権契約を締結しましたので、お知らせいたします。

当社グループは、メディカル事業において、子会社のサイトリ・セラピューティクス株式会社を中心に、細胞治療サービスの提供、脂肪組織由来再生（幹）細胞（Adipose-Derived Regenerative Cells；ADRCs）を用いた細胞治療の研究、医療機器の製造・輸出入・販売を展開しております。

アニマルセラピー社は、当社グループが蓄積した細胞治療に関する知見・ノウハウを活かし、イヌやネコなどの伴侶動物、畜産動物、競争馬等、動物を対象とした細胞治療サービスの展開を事業の主目的とし、昨年 11 月に設立いたしました。

今般、Meis 社及びバイオラボ社が共同開発した幹細胞から高濃度エクソソームを抽出する独自技術について、アニマルセラピー社が独占的な実施許諾権を得ることにつき、契約を締結いたしました。

Meis 社及びバイオラボ社が共同開発した独自技術は、培養上清液から遠心分離や濾過といった工程を介して幹細胞から放出されたエクソソームを獲得する一般的な方法とは異なり、幹細胞を凍結・融解により破碎し、幹細胞の中から直接的にエクソソームを獲得する方法で、一般的な方法と比べ大量かつ高濃度なエクソソームを獲得することが可能です。なお本技術は、現在、Meis 社及びバイオラボ社によって、日本国内及び海外各国で特許出願中です。

アニマルセラピー社では、当該技術を積極的に活用し、動物領域におけるアンメット・メディカル・ニーズに応えうる有効な治療技術の研究・開発を進めてまいります。

なお、本件による当連結事業年度の業績への影響は現時点では軽微と考えておりますが、今後開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

以 上

^注 エクソソーム (Exosome)

エクソソームは、細胞から分泌される直径 50-150nm（ナノメートル：10 億分の 1 メートル）の顆粒状の物質で、その表面は細胞膜由来の脂質、タンパク質を含み、内部には核酸（マイクロ RNA、

メッセンジャーRNA、DNA など) やタンパク質など細胞内の物質を含んでおり、細胞間の情報伝達を担うと言われていています。現在、免疫、神経、癌、内分泌、循環器など様々な領域においてエクソソームの研究が進められており、医療現場での有効活用が期待されています。

株式会社 Meis Technology について

Meis Technology は、名古屋大学、岐阜大学、岐阜県畜産研究所の研究成果を臨床・獣医療に応用するため、2019年に設立されました。間葉系幹細胞濾過液を活用し、人の生殖医療や泌尿器医療、獣医療、家畜産業に向けた製品の研究開発・製造・販売を進めています。

<https://www.meistechnology.co.jp/>

株式会社 バイオラボについて

バイオラボは、再生医療の領域で長年研究開発活動を行ってきたメンバーによって2023年に設立されました。研究開発型のバイオ企業ですが、他の技術領域と連携を図りながら、長期スパンで特にイノベティブなヘルステックの研究開発に取り組むとともに、技術の社会実装にこだわり、特にアグリ・フードテックの領域では、社会実装拠点を設けて、自ら循環型エコ生産システムの構築を目指しています。